

令和5年度みやぎ環境交付金事業（計画・実績）概要書

市町村名	大崎市
事業名	令和5年度「大崎耕土」市民参加型生物多様性モニタリング事業
<p>&lt;事業目的&gt;</p> <p>本市を含む加美町，色麻町，涌谷町及び美里町の大崎地域1市4町は平成29年に「世界農業遺産」に認定され，居久根などランドスケープとつながった農業生物多様性が高く評価されました。</p> <p>令和3年度，4年度には，みやぎ環境交付金事業において「令和3年度『大崎耕土』アカトンボ見つけ隊」を実施し，環境変化に敏感で，かつ身近な生きものであるアカトンボの生態調査を市民参加型で行うことにより，市民の自然環境や生物の多様性への関心や意識を高めるとともに，生息するアカトンボの種類や傾向を把握することができました。また，テレビやラジオ，新聞など各メディアからの取材によって地域内外への情報発信が行われ，大きな反響が認められたところです。</p> <p>令和5年度からはこれまでに参加した市民を巻き込み，「市民参加型モニタリング調査」を実施していくものです。現在，検討段階ですが，来年度は「メダカ，ドジョウ類」，翌年は「セミ類」，その翌年は「バッタ類」，その翌年は「チョウ類」，その翌年は「アカトンボ類」に戻るというように，5年程度周期で様々な生物群のモニタリング調査を実施していきます。</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <p>メダカ，ドジョウ類（ドジョウ，シマドジョウ，ホトケドジョウ）という田んぼと水路を行き来し，底質の状況により住み分けることが知られる生きものの生態調査を市民と一緒にいき，本市の自然環境のモニタリングにつなげていきます。</p> <p>併せて調査イベントを開催することで，本市の自然環境や生物多様性への関心を高め，環境に配慮した農業など田んぼ環境の重要性について周知しました。</p> <p>場所：大崎市内</p> <p>内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) メダカ・ドジョウ類調査の広報・周知</li><li>(2) メダカ・ドジョウ類見分け方シートの作成</li><li>(3) メダカ・ドジョウ類調査旧市町7地域</li><li>(4) 普及啓発調査イベントの開催</li><li>(5) 調査データの集計・考察</li><li>(6) 調査結果の広報・周知</li></ol>	



(7) 市民参加型モニタリング調査体制の検証

手法：調査及びイベントの開催，集計・考察は業務委託で実施しました。

実施期間：令和5年7月～2月

調査結果：

大崎市内34地点において，ドジョウ類，メダカの生息調査報告があり，次のことがかりました。

市内では，ドジョウ，キタドジョウ，カラドジョウ，ヒガシシマドジョウ，ホトケドジョウの5種が知られていますが，そのうち，本事業ではドジョウ，カラドジョウ，ホトケドジョウを確認しました。

気象条件が厳しかったこともあり，市民からの報告件数は少数でしたが，ドジョウ類，メダカだけでなく，一緒に採集された生物についても報告されており，一般市民の調査記録としては，とても充実した内容で，おおさき生きものクラブや市内各地で開催されている観察会等の体験活動が活かされていることが示唆されました。

スケジュール：

5月～6月 市民参加型モニタリング調査の広報・周知

6月下旬～7月上旬 水路・河川でのメダカ・ドジョウ類調査

11月 参加者から調査データを回収

12月 調査結果の集計

2月 HP等で結果公表

1月～2月 市民参加型モニタリング調査体制の検討